MDM Landscape Q2 2014

昨年のマスターデータ管理 (MDM) 市場は、その継続的な成長により、最も急成長しているエンタープライズ ソフトウェア市場の 1 つであることが実証されました。当社は、MDM ソフトウェアの市場価値を 11 億 6000 万ドルと見積もっており、これは年間成長率 9% に相当します。これには、市場に参入しているすべてのソフトウェア企業の MDM 関連の収益が含まれます。MDM の実装に関連するシステム統合やコンサルティング収入は含まれません (ただしソフトウェア ベンダーのプロフェッショナル サービス収入を含みます)。当社の推定では、MDM ソフトウェアの純ソフトウェア ライセンス収入が 6 億 4000 万ドル、メンテナンス収入が 1 億 9800 万ドル、ソフトウェア ベンダーの MDM プロフェッショナル サービス収入が 3 億 2600 万ドルとなっています。調査によれば、MDM プロジェクトの人件費が平均でソフトウェア ライセンス費用の 4 倍であることがわかり、明らかに MDM に関連する巨大なコンサルタント市場が個別に存在することを示すものです。

MDM 市場が誕生して約 10 年になります (この言葉が広く使われるようになる以前にも、いくつかの草分け的な企業がありました)。早くから顧客および製品データの一貫性を高めるための努力を重ね、独自の力で現在の確固たる地位を築くまでに成長しました。ほとんどのベンダーがマルチ ドメインを標ぼうしていますが、多くの場合、そのルーツを辿れば製品データまたは顧客データのいずれかを基盤としています。ただし、MDM がエンド ユーザーのコミュニティに広まりつつあることは概して事実であり、顧客および製品データだけではなく、アセット、ロケーション、サプライヤ、財務、人事等のデータを維持するためにも MDM が使用されています。実際、MDM の導入に際しては、比較的安定しているリファレンス データ (国コードなど) の保守といったあまり目立たない領域で試験的に運用し、その後、より不安定なマスターデータ ドメイン管理へとイニシアチブを広げるというのが一般的な方法になっています。

マスターデータのイニシアチブが、対象となるドメインの範囲と幅全体に浸透するにつれて、広範なビジネス管理を導入することがますます必要になります。MDM のイニシアチブには、データとその定義を大幅に標準化するために現在のどのビジネス慣習を変えるべきかという難しい判断を下せる権限を持った人間が必要です。これは簡単なことではありません。実際、当社の最近の調査では、大規模な組織が所有する個別の競合するマスターデータ ソースの中央値は 15 でした。2008 年に実施した同様の調査でも、中央値は同じく 15 でした。これは、継続的な投資によっても、マスターデータ ソースの数を削減することは容易ではないことを示唆するものです。そのような意識の高まりによって、より多くの企業がデータ ガバナンスのイニシアチブを策定するようになり、MDM ベンダーでも、データ管理ワークフローやダッシュボードなど、データ ガバナンス活動に対して少なくともあるレベルのサポートを提供するケースが増えています。

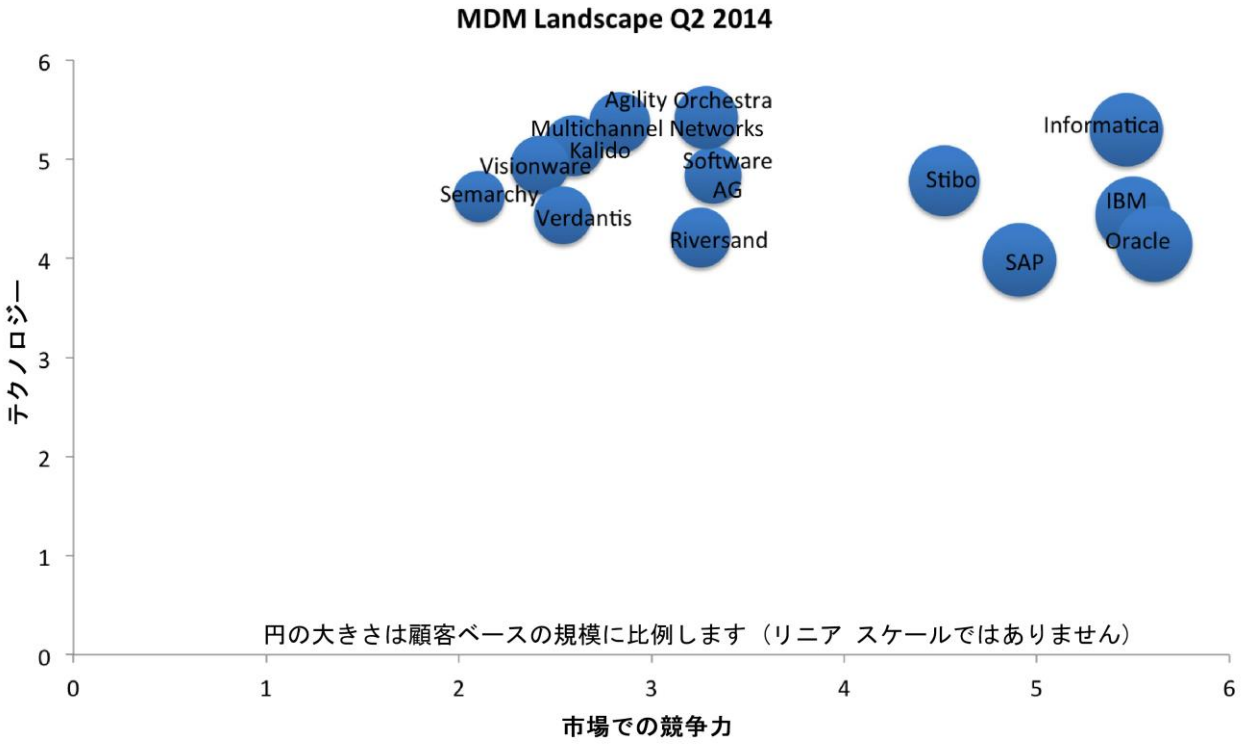
クラウド ベースの MDM 実装はまだ大きな関心を集めていませんが、小規模な拠点から確実に成長している領域です。この成長が続けば、永久ライセンス ソフトウェア モデルを使い慣れたベンダーにとってあらたな課題が生まれることになります。一部のベンダーは、まず自社の製品に「ビッグデータ」機能を取り入れることから始めました。たとえば、ある形式で Hadoop データへのリンクを提供しています。確かに、このような状況で処理される膨大な量のデータには、何らかの分類が

Copyright © 2014 The Information Difference Ltd. All Rights Reserved.

必要です (法人アカウント データをソーシャル メディア データにリンクするなど)。MDM には果たすべき役割がありますが、それでもビッグデータはまだ生まれたばかりの技術です。相当な額の投資が行われていますが、実際にこれらのイニシアチブを MDM ソリューションへと結びつけている企業の数は、それが理想的であるとは理解していても、非常に少ないのが現実です。

ベンダー市場では過去にいくつもの合併・買収が繰り返されてきましたが MDM 市場には、真の統合を思わせる兆候は未だに見ることができません。確かに、この数年の間に数多くの企業が新規参入したことは特筆すべきです。ある企業は、非リレーショナル データベースに基づくテクノロジーを開発し、またある企業は特定の業界またはユースケースを専門にしており、業界固有の専門技術を充実化させることに専念し、それを差別化要因としています。10 年の時を経て、MDM 市場は成長し、エンタープライズ ソフトウェアの主力製品を取り込み続けています。

本市場の主要なベンダーを以下にまとめます。



本ランドスケープ図では、市場におけるベンダーの関係を3つのディメンションで表しています。円の大きさはベンダーの顧客ベースの規模に比例します。すなわち、MDMソフトウェアを販売した企業の数を取引の規模に応じて換算したものです。円が大きくなるほど、顧客ベースも拡大します (ただしノンスケール)。テクノロジー スコアは次のデータから導かれるスコアの加重セットから求められます: 基準となる顧客の調査によって測定される顧客満足度[1]、テクノロジーに対するアナリストの印象、市場に登場してからの時間を基準にしたテクノロジーの成熟度、および当社機能モデルをどれだけカバーできるかを基準にしたテクノロジーの幅広さ。市場競争力は次のデータから導かれるスコアの加重セットから求められます: MDM 収益、成長、財務の健全性、パートナーのエコシステムの規模、(収益が調整された) 顧客ベースおよび地理的範囲。

[1] 完成度の十分に高い参照情報がなければ、本係数には中間のスコアが割り当てられます。

Copyright © 2014 The Information Difference Ltd. All Rights Reserved.

Information Difference は、各ベンダーについてのより詳しい情報を含むプロファイルを保持しています。顧客は、ニーズを評価する際にランドスケープ図といった概要レベルでの評価をするのではなく、自社に固有の要件を慎重に検討することが推奨されます。当社は、包括的な MDM 機能モデルと評価アプローチを保持し、顧客に提供しています。

「テクノロジー」ディメンション スコアリングの有効部分は、ベンダー顧客の調査によって決定されるように顧客満足度に割り当てられます。今回の調査で顧客満足度の最も高かったベンダーは Agility Multichannel で、以下 Semarchy、Orchestra Networks、Verdantis、Informatica という結果になりました。これは称賛に価します。

主要な MDM ベンダーのリストを以下に示します。

ベンダー	概要	Web サイト
Agility Multichannel	商取引用の製品管理を専門とする製品データ ベンダー向け MDM を提供。	www.agilitymultichannel.com
Ataccama	データ品質ベンダー。ソフトウェア ポートフォリオとして MDM ハブも提供。	www.attacama.com
Cadis	金融サービス業を専門とするエンタープライズ データ管理ベンダー。	www.cadisedm.com
D&B Purisma	業務サービス分野の大手 D&B により買収された顧客ハブ ソフトウェア企業。	www.pursima.com
Dell Boomi	Dell のサービス事業を担当。現在はクラウド ベースの MDM ソフトウェア製品も提供。	www.boomi.com/mdm
EnterWorks	製品情報管理からスタートしたマルチドメインの MDM ベンダー。	www.enterworks.com
Global IDs	データ ガバナンスに重点を置くニューヨークに拠点を置くベンダー。	www.globalids.com
Golden Source	金融サービス業を専門とするイギリスに拠点を置くベンダー。	www.thegoldensource.com
GXS	製品マスター データを専門とするベンダーだが、その他のデータ ドメイン管理も提供。	www.gxs.com www.gxsproductmasterdata.com
hybris	製品マスター データと電子商取引を専門とするベンダー。現在は SAP に統合。	www.hybris.com
IBM	あらゆるデータ ドメインおよび実装形式に対する包括的な MDM サービスを提供する業界の巨人。	www.ibm.com
Informatica	データ管理ベンダー。マルチ ドメイン MDM ソリューションを提供する。Heiler PIM を昨年買収。現在 Informatica PIM として提供されている旧 Heiler 製品は、マルチチャネルの製品、サプライヤ、メディア アセットのマスターデータ管理に特化。	www.informatica.com

Copyright © 2014 The Information Difference Ltd. All Rights Reserved.

Information Builders (IBI)	ビジネス インテリジェンス ベンダー。現在は MDM ソリューションとして iWay Master Data Center を提供。	www.informationbuilders.com
Indus Valley Partners (IVP)	資本市場のバイ サイドを専門とするエンタープライズ データ管理ベンダー。	www.ivp.in
InterSystems	オブジェクト データベースをアプリケーション統合プラットフォームと統合した MDM を提供。	www.intersystems.co.uk
Kalido	データ ガバナンスを主力とする情報管理ベンダー (現在は Magnitude Software に統合)。	www.kalido.com
Liaison	製品データに重点を置くクラウド ベースの MDM ソフトウェアを提供。	www.liaison.com
Oracle	複数の MDM ソリューションを提供するデータベースおよびアプリケーション業界の巨人。	www.oracle.com
Orchestra Networks	データ ガバナンスに重点を置く、モデル起動型のマルチ ドメイン MDM ベンダー。	www.orchestranetworks.com
Pitney Bowes Software	2012 年 7 月の終わりにグラフィカル データベースに基づく MDM 製品を発表した大手ベンダー。	www.pb.com
Profisee	Microsoft MDS プラットフォームをベースとし、その補足サービスを提供。	www.profisee.com
QAD	製品マスターデータを専門とするベンダー。	www.qad.com
Riversand	製品データを専門とするマルチ ドメインのマスターデータ プロバイダー。	www.riversand.com
Rollstream	サプライヤー マスターデータを専門とするベンダー。	www.rollstream.com
SAP	独自の MDM ソリューションを提供するアプリケーション業界の巨人。	www.sap.com
SAS	マルチ ドメイン MDM ソリューションを提供する非上場の大手ソフトウェア会社。	www.sas.com
Semarchy	2011 年後半に MDM 製品を発表したスタートアップ企業。「先進の MDM」がテーマ。	www.semarchy.com
Software AG	マルチ ドメイン MDM、BPM および SOA ソリューションを提供するベンダー。	www.softwareag.com/mdm
Smartco	金融サービス業を専門とするエンタープライズ データ管理ベンダー。	www.smartco.com
sparesfinder	スペア部品データのマスタリングを専門とするベンダー。	www.sparesfinder.com

Copyright © 2014 The Information Difference Ltd. All Rights Reserved.

Stibo Systems	製品、サプライヤ、およびロケーションのマスターデータを専門とするベンダー。	www.stibosystems.com
Talend	オープン ソース ベンダー。現在は MDM スイートを提供。	www.talend.com
Teradata	独自の MDM ソリューションを提供するデータベース業界の巨人。	www.teradata.com
Tibco	製品データ指向の MDM ハブを提供する統合ベンダー。	www.tibco.com
Verdantis	Zycus のスピンオフ企業 (2012 年 10 月)。エネルギー業界向け MDM に重点を置く。	www.verdantis.com
VisionWare	イギリスおよび米国に拠点を置く MDM ベンダー。同社の MultiVue 製品を導入するヘルスケア・金融サービス企業および地方自治体を顧客とする。	www.visionwareplc.com
Zycus	Zycus の一事業部、Zynapse はマテリアルやベンダー データ ドメインに重点を置く。	www.zynapse.com

Copyright © 2014 The Information Difference Ltd. All Rights Reserved.